

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	がんばろう！つばさネットワーク
活動テーマ	被災地の元気に貢献する、被災地・大阪間の高校生交流事業



がんばろう！つばさネットワークは、東日本大震災を目の当たりにした高校生の「何かしなければ」という思いに応えるべく、平成 23 年 4 月 22 日に設立した団体です。これまで 6 回の気仙沼現地ボランティアで高校生 228 名を派遣し、4 回の大阪招待で高校生 104 名を受け入れ交流してきました(平成 28 年 2 月 29 日現在)。

これまでの経過を踏まえて、年度末の 3 月 25-27 日に気仙沼高校、登米高校の 2 校 32 名の高校生、4 名の教員を受け入れ、交流しました(歓迎会は 450 人参加)。

その目的は、①被災地の「忘れられている」という不安を払拭し、被災地の高校生の活性化で被災地の元気に貢献したい。②南海トラフ地震に備え、高校生が中心になって学校・地域・市民団体の防災ネットワークを作りたい、ということです。

方法としては、①高校生の送迎活動により、地域の方々による被災地からの高校生のホームステイを実現すること、②北摂つばさ高校の主催で野球試合を実施し、北摂の 4 校と練習試合を実施することです。

その結果、①大阪と宮城の高校生の交流が盛り上がり、大阪の「私達は被災地のことを忘れていない」のメッセージを被災地にお届けすることができました。②高校生の活動を支えるネットワークが拡大し、茨木市内のユネスコスクールを中心に、地域自治会、市役所、スポーツ少年団、市民活動センターだけでなく、茨木商工会議所、茨木商業団体連合会など、企業や事業者の協力を得て、受け入れ態勢の持続可能性を高めることができました。

今回の大きな成果がありがりましたのも、ひとえに公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団の助成を得たからこそと考えております。現在、平成 28 年度は 7 月に気仙沼での訪問と交流、3 月に大阪での受け入れ、と来年度の準備を進めています。今後とも活動へのご理解とご支援をいただければ幸いです。ありがとうございました。